



# 熊事研会報

第 131 号

熊本県学校事務研究協議会  
発行人：会長 宮崎 文子  
編集代表：研究部長 平野 哲也

～目次～

- 会長あいさつ ○ 第51回全事研大会岡山大会参加報告
- 学校事務センター視察研修報告 ○ 2019年度事務局・研究部 新入部員紹介

## 会長あいさつ

熊本県学校事務研究協議会 会長 宮崎 文子

去る6月14日に開かれました熊本県学校事務研究協議会（以下、熊事研）の定期総会において、会長として承認をいただきました山鹿市立菊鹿中学校の宮崎文子です。6月の研究大会では研究部の基調提案の時間を充分確保できなかったこと、また終了時間がおしまして、御迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。就任早々お詫びから始まりましたが、私のことを昔から知っている方々は私の会長就任をどのように感じておられるのでしょうか。まだまだ勉強不足なので自分自身不安なのが正直なところです。会長に推薦いただき大役の重責に押しつぶされそうですが、私なりに責任感を持って一生懸命努めてまいりたいと思います。

今回この原稿を書くにあたり、ホームページに掲載されている、以前の会報をいくつか読み返してみました。第58号（平成12年7月1日）第96号（平成21年10月30日）第115号（平成26年6月30日）等々。その時々为学校事務の現状、熊事研の研究内容や役職につかれた皆様のあいさつ文。そして、全国大会の参加報告など原稿を寄せてくださった皆様の思い。実に多くの皆様にかかわっていただいている熊事研の歴史、そして絆を感じました。

熊事研は「研究会」でなく「研究協議会」という形で成り立っています。会員の皆様はそれぞれ地区研に所属されており、その11の地区が集まり研究協議会となります。また全国公立小中学校事務職員研究会（以下、全事研）の熊本支部でもあり全国とのパイプも持っております。県内の各地区から理事をだしていただいていますので熊事研への要望や意見は理事を通じていつでもお聞かせください。熊事研は事務局と研究部があり地区理事と連携しながら年2回の研究大会を運営し、会報の発行、事務必携の発行、HPの運営等を行っています。

振り返ると私と熊事研の出会いは平成9年でした。もちろん、採用された年から毎年研究大会には参加していましたが、運営側にまわったのは平成9年が最初でした。それから出たり入ったりしながら、事務局員、理事、副会長などを務めさせてもらいました。役を受けるということは、自分の学校以外の仕事が増えるわけで、大きな負担にはなりますが、自分の勉強になるのも確かです。出会えるはずのなかった人々ともたくさん出会うことができます。学校では受けることのできない大きな刺激を受けます。地区から役員への推薦があった場合は是非受けてほしいと思います。推薦があったということは、この人は責任感があると認めてもらえたからだと思いますし、勉強する、成長のチャンスを得たととらえてください。

会報を読み返しながらも思ったことですが、一子どもの豊かな育ちを支援する学校事務—という私たち熊事研の基本理念はずっと変わっていませんが、世の中の変動のなんと激しいこと……。子どもたちをとりまく環境、学校をとりまく環境には厳しいものがあります。また熊本市は政令指定都市としての歩みをはじめ、熊本県における学校事務の採用形態も変わりました。私たちは学校事務職員としてどのように仕事をしていくのか、子どもたちの豊かな育ちのために何ができるのか。これからも熊事研として取り組み、研究大会という形で会員の皆様に提案していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

大会テーマ：「ビジョンを実現する学校経営戦略」

大会キャッチフレーズ：「晴れの国から いざ 課題解決（おにたいじ）！」

期日：2019年8月8日（木）～8月9日（金）

会場：岡山シンフォニーホール 他

## 1 全体研究会

日本は現在、少子高齢化のなかにあり、今後も人口減少が起こると考えられています。東京圏への人口集中と地方の人口減少は更に大きくなると考えられており、地方創生を成し遂げるために人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むことが求められています。また、AIの発達やIoTの発展により、定型業務や数値的に表現可能な業務はAIにより代替可能とされ、グローバル化により、産業構造や働き方に変化が起こることは間違いがないものと予想されます。これからの子どもは、予測困難な未来を生き抜き次世代を担っていくために、人間だからできる力を育まなければなりません。このことを受け学校は、新たな学びを提供する場として変わる時期にあります。

全事研では、第9次研究中間計画を今年度より実施します。この計画では、「ビジョンと戦略」「カリキュラム」「地域協働」「ヒューマンリソース」「リーダーシップと組織開発」という5つの課題に分け、年度ごとに整理していきます。今年度は、「ビジョンと戦略」について探求しました。

学校は「ビジョンと戦略」を策定し、学校経営を行います。その実現のために経営資源を分配し、学校経営を担うそれぞれの主体の特性を生かしながら、組織として教育目標を達成します。

社会の変化や学校の在り方が変わるなかで、学校と保護者や地域と熟議を重ねて、新たな「ビジョンと戦略」が必要です。その熟議を重ねる場や事務機能が地域とともにある学校に必要となっています。中学校校区を基盤とした地域学校経営という考え方の提案です。地域の資源をリソースし9年間の学びの連続性を保証できます。この中で共同学校事務室は、事務局的な役割を果たします。地域学校経営でビジョンを作成し、地域と協働して子どもを育てるという考え方です。この地域学校経営ビジョンを踏まえ、各学校でもビジョンを作成します。学校事務職員は、これまで培った専門性から学校運営チームの一員として学校運営ビジョンの策定にかかわり、学校経営戦略を立案することで、子どもの学びの質を高めることができると考えられています。情報や時間や信頼も教育を進めていく上で大切な経営資源です。この見えない経営資源を高め、お互いの思いや考えを確認し合うことで信頼関係が高まります。

保護者や地域と共に持続可能な協働を構築するため、評価を効果的に活用するという手だてがあります。参加型の評価を取り入れると効果的であると考えられています。

次は、学校経営ビジョンの実現に果たす学校事務職員と共同学校事務室の役割です。全事研の平成30年11月期調査では、校長を対象に学校経営ビジョン実現に対する考えなどについて調査を行いました。そのなかの学校経営ビジョンを実現するために共同学校事務室へ期待することを問う設問では「財務マネジメント」という回答が70.5%と圧倒的に多くを占めました。その他の業務に関しては期待が乏しいと読み取ることができる結果でした。しかし、ビジョンを実現する

ために「財務マネジメント」を挙げた校長は、9.1%であり、ビジョン実現に「財務マネジメント」は重視されていないという結果がありました。「財務マネジメント」以外の業務については、共同学校事務室へ期待する業務として低い数値であったことから、財務マネジメント以外の業務は学校事務職員の業務ではないという社会的認識が広く存在しています。このことから、これまで以上に学校事務職員の行う業務認識を変えていく働きかけを行い、それに見合う資質・能力を身につけていく必要があると提言されました。

学校教育の質を高めるためには、学校の経営資源を効果的に活用するリソースマネジメントが求められています。この経営資源のリソースマネジメントは、学校事務職員が担うことが効果的と考えられています。経営資源を組み合わせたり、もともとの資源に付加価値をつけたり、新たな価値を生みだしたりする役割が学校事務職員のリソースマネジメントには求められています。これを共同学校事務室が担うことが実効性の高まりや持続可能な体制が構築できると考えられています。

教育の質を高めるために、採用や育成や人事交流についても意見がなされました。教育と行政に精通し、より良い教育をつくり上げていく教育行政職員であることが考えられます。これから教育の質を高める行政職員としての学校事務職員の役割や業務の変革が、近い未来起こりうるであろうことは予測でき、そのために私たちは、常に学び続けなければならないことと、求められている業務を遂行し、変革の時代に対応できる事務を構築しなければならないことを感じ、持続可能な共同体制を構築する共同実施や、共同学校事務室の組織を活用することが一つの手立てであるということ学びました。

## 2 本部研究分科会

≪ 討議の柱1 ≫ 共同学校事務室が行うリソースマネジメントの在り方

≪ 討議の柱2 ≫ 地域と共にある学校の経営ビジョンを実現する事務職員

前半は、共同学校事務室に焦点をあて、その役割や専門性について研究を深めました。参加者が主体となって討議を進めるため、会場からの質問やワークシートを活用し、参加者の取組が他の人のヒントやきっかけになるような分科会でした。キーワードは、「リソースマネジメント」でした。

まず、昨日の提案に対して、会員からの質問と全事研より回答が出されました。

質問1) 協働経営計画の実際においては、教師・保護者・地域が熟議を重ねて作成していくことが重要であると述べられていましたが、実際はそういう話し合いをする場所は少ないと思われます。また、そこを学校事務職員から発案することを全事研は考えているのでしょうか？

⇒回答1) 熟議の機会が設定されていない状況で新たに機会を設定することは、経験年数が浅い場合は難しいのかもしれませんが。そのようななかでも地域ニーズ等の情報をマネジメントするといった学校事務職員の専門性を生かした場の提案ができるのではかと考えています。

質問2) 参加型評価活動について、これが機能する場合かなり成熟した地域学校経営が展開されていると考えます。もし、そうではなく発展途上である地域の場合は、参加型評価活動が機能するためにどのような基盤が必要であると考えますか？また、逆に地域学校経営を実現させる

ために、この参加型評価活動を行っていくのであればどのような点に留意すべきとお考えでしょうか？

⇒回答2) 地域学校経営が発展していくためには、できるだけ多くの人に意思決定の場に参加していただくことが大切であり、取組にかかわる各主体に評価を行う機会が与えられることや評価の場で自由に安心して発言できる雰囲気の設定が大切になると考えています。そのなかで評価を繰り返し、取組に対する理解と責任感が高まっていきます。そして、その取組の成果を組織全体で共有し、学び合い、認め合う組織文化が組織の発展に大切であると考えています。

次に討議の柱1について、進められました。「行政のなかでは、ビジョンを実現するために総務・財務は大きな役割を担っている。」ということが助言者の先生からありました。コーディネーターから「共同学校事務室のなかで財務マネジメントが行われているか？」や「点検業務にのみ滞まっているのではないか？」ということが確認され、共同学校事務室が教育力を高めるためにリソースマネジメントをどのようにすればいいのか、ということについて、ワークシートを活用行われました。リソースマネジメントということで、経営資源(強み・弱み)をワークシートに記入し、実践したいこと等を参加者と意見交換しました。参加者から「外国人児童生徒が多いということ、多様な価値観という強みに転換したい。」や「企業や地域に目を向けてリソースマネジメントをしていきたい。」などの意見が出されました。

討議の柱2では、「学校事務職員が学校経営ビジョンを実現するためには、どのような資質能力が必要か」ということで意見交換がありました。助言者から「教育大綱を市長が作ると法改正されました。これで、教育は、行政の仕事だという認識が一気に高まりました。学校事務職員は、ほかの職員が何をやっていて、どのようなことに困り感を持っているのかを把握することが重要であり、それが、できやすい職員である。そこに力を発揮していただきたい。ビジョンの実現のためには、まず情報の共有、次は思いの共有をしていただきたい。教育の力が地域振興に実りをもたらすという意味合いで教育を行う。」や「何かを変えるためには、条例規則等があり難しいが、そのなかでも変えるという姿勢を持つことが大事です。」や「学校事務職員の仕事はつかさどるとなり、つかさどるという職にしていくのは皆さんの力です。」との言葉をいただきました。

今、求められているビジョンと戦略は、以前と変化しているのではないかという捉えなおしや学校事務職員の学校経営参画が教育の質を高め、他者からもそう思われる職でなければならない、そのために何が必要なのかということをもとに改めて考えました。

今回、熊事研より全国大会に派遣していただき、学ぶ機会をいただき感謝申し上げます。



塚本先生、報告ありがとうございました。次年度(2020年度)全事研開催地は岐阜県です。現状より一歩前へ踏み出すために！このままじゃいけないと思っているあなた！ぜひ、来年度は全事研へ行ってみませんか？

皆様の参加をお待ちしております。お近くの研究部員または理事さんまで御相談ください！

視察日時：2019年8月5日（月） 11:00～15:00

視察場所：阿蘇市学校事務センター（阿蘇中学校内）

視察メンバー：水俣市学校事務センター職員

上天草市南部学校事務センター職員

## ○午前の部

- (1) 視察校代表者あいさつ
- (2) 各センターメンバー紹介
- (3) 日程説明
- (4) 阿蘇市学校事務センターの  
業務内容等説明及び施設見学

## ○午後の部

- (1) グループ分け
- (2) 水俣市・上天草市南部学校事務センター説明
- (3) 学校徴収金に関する情報提供
- (4) グループ討議
- (5) まとめ、謝辞

阿蘇市学校事務センターで取り組んでおられる学校徴収金一元化（総合会計）を学ぶことをメインテーマに、水俣市学校事務センターと合同で視察研修に行ってきました。

総合会計の概要やメリット・デメリット、システムの説明、未納などの運用状況など説明いただき、たいへん参考になりました。

また、グループ討議では学校徴収金の様々な課題について、意見を交わすことができました。討議のなかで、各センターの執務環境や教育委員会との関係等の話もあり、改めて自分自身の事務センターの環境について考える良い機会となりました。

何より、各センターの先生方とつながりができたこと、そして、それぞれ業務改善のために熱心に取り組んでおられる姿に刺激を受けました。今回学んだことを今後のセンター業務に生かしていきたいと思います。

## ※阿蘇市学校事務センターについて

- ・設置場所：阿蘇市立阿蘇中学校（拠点校）
- ・連携校：阿蘇市立阿蘇小学校、阿蘇市立内牧小学校、阿蘇市立阿蘇西小学校
- ・構成：センター長（1名）

財務グループ（グループ長1名、グループ員1名）

庶務グループ（グループ長1名、グループ員1名）

## ・業務内容

財務グループ：市予算、備品、学校徴収金、その他

庶務グループ：勤務実績報告書及び諸手当認定、諸手当現況調査、旅費、年末調整、その他

その他の業務：学校事務センター運営（センター長）、研修・研究、広報、支援業務（センター内事務職員への指導・助言）

## ・業務日：毎週木曜日

第1週 午前半日 9:00～12:00

第2週 終日 9:00～12:00、14:00～16:00

第3週 午前半日 9:00～12:00

第4週 午前半日 9:00～12:00

## 2019 年度事務局・研究部 新入部員紹介

2019 年度熊事研事務局・研究部に計 8 名の新入部員が入りました。前号同様、Q&A 方式による自己紹介です。これから 1 年間、よろしくお願いします。

- ① 現役職と氏名（ふりがな） ②現所属校
- ③現在、事務局員・研究部員として担当している業務 ④最後にひとこと、意気込みを！

- ① 研究部 篠原 帆南美（しのはら ほなみ）
- ② 西原村立西原中学校
- ③ 研究班 行動変革チェックシートの作成に取り組んでいます。
- ④ どうぞよろしくお願いします。

- ① 研究部 二子石 務（ふたごいし つとむ）
- ② 荒尾市立荒尾第三中学校
- ③ 研究班 熊本版グランドデザインについて研究活動をしています。
- ④ 学校事務職員を取り巻く環境が変化していますが、頑張りたいと思います。

- ① 研究部 矢加部 大貴（やかべ だいき）
- ② 南阿蘇村立中松小学校
- ③ 研修班 有意義な分科会となるように、内容を検討しています。
- ④ 会員の皆様にとって有意義な研究大会となるように知恵を振り絞り、自分自身の成長にもつなげていけたらと思います。

- ① 研究部 大澤 成美（おおさわ なるみ）
- ② 益城町立津森小学校
- ③ 研修班 第 44 回熊事研大会の分科会の計画についてです。
- ④ 何もできず恐縮するばかりですが、できる限り頑張ります！

- ① 研究部 本田 一仁（ほんだ かずひと）
- ② 八代市立鏡中学校
- ③ 研修班 第 44 回熊事研大会の分科会について内容の検討などを行っています。
- ④ 分からないことばかりですが、一つ一つ勉強しながら、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いします！！

- ① 研究部 久保田 美千子（くぼた みちこ）
- ② 山江村立山田小学校
- ③ 研修班 第 44 回熊事研大会分科会の内容検討・運営
- ④ 分からないことだらけで勉強の日々です。皆様に「参加して良かった！」と言ってもらえるような大会にできるよう頑張ります。

- ① 研究部 大村 郁敬（おおむら ふみたか）
- ② 芦北町立湯浦小学校
- ③ 研修班 第 44 回熊事研大会に向けて、分科会の企画・運営に関する業務を担当しています。
- ④ 初めての研究部で分からないことばかりですが、少しでもお役に立てるよう精一杯頑張ります。

- ① 研究部 堤田 雅和（つつみだ まさかず）
- ② 天草市立有明中学校
- ③ 研究班 行動変革シートの検討を行っています。
- ④ 1 年間精一杯頑張ります！よろしくお願いします！

## お知らせ

## 第 44 回熊本県学校事務研究大会について

下記のとおり、開催予定です。正式な案内等は、後日行います。たくさんの方の御参加をお待ちしております。

期 日 2020 年 1 月 24 日（金）  
 場 所 くまもと森都心プラザ【全体会、第 2・第 3 分科会】  
 ザ・ニューホテル熊本【第 1 分科会】  
 内 容 午前の部 開会行事、研究部提案、講演  
 午後の部 キャリア別分科会（内容は、現在検討中です。）  
 参加資料代 会員 2,000 円 会員外 2,500 円

〈研究部研究班より〉

学校事務職員の皆様、日頃の業務たいへんお疲れ様です。

今年度研究部では、「行動変革～主体的に!! 積極的に!!～」をビジョンとし、熊本版グランドデザインを基とした研究を進めています。「事務をつかさどる」ことへの意識変革から、これからは行動変革への 2 歩目を踏み出すべく、研究班でも「意識変革チェックシート」から「行動変革シート」の作成に向けて取り組んでいます。近いうちに、皆様に御提案できればと思っています。一緒に頑張っていきましょう！

行動変革～主体的に!! 積極的に!!～



## 編集後記

あっという間の夏休みも終わり、2 学期あるいは前期後半へと突入しましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃より、会報作成に係る寄稿等、感謝申し上げます。

会報に載せてほしい記事、または熊事研 HP に掲載してほしい事柄等があれば、お近くの研究部員までお知らせください。